

令和6年度 事業報告

1. 市政と地域住民との連絡調整

令和6年度の各自治会（町内会）からの要望事項に対する回答書につきまして、各回答に地域長コメントを入れ、当該自治会（町内会）に配付いたしました。

主な実施事項は、木津田中前115の空き地の雑木除去、井関川流域の新天神橋から豊楽橋までの河川の浚渫工事、城西町用水路内部のセメント、アスファルト除去の緊急工事、奈良道の舗装修繕工事、京都府インフラ保全事業として、宮ノ内9番地・市道147号線との交差点での一時停止線及び路面標示の再塗装等が執り行われました。

その他の要望事項については、一部前向きな回答が得られなかった点もありますが、今後も継続して要望してまいります。

令和7年度の各自治会（町内会）からの要望事項はすでに2月中旬に提出いたしました。

ここ数年木津川市においても不審者情報が多発しており、木津町区としても、多くの防犯カメラの設置が望まれるところです。今年度の要望事項にも含まれており、検討していただくよう働きかけていきます。

木津町区財産処理委員会（木津町区・木津町区農業関係・東山墓地）について、各々委員会規約に基づき、用途について検討を重ねてまいりました。

木津町区農業関係は、用水路改修事業（田んぼダム）を申請し、木津川市議会の承認を得ました。木津町区は、用途検討を行いました。申請には至りませんでした。

東山墓地は、規約策定し、用途について検討中です。

また、木津川市、京都府、国土交通省、木津警察署や社会福祉協議会、そして木津町区等からの自主防災会の取組も含めた連絡についても、各種会議等により情報を共有するとともに、回覧にて自治会（町内会）へ配付すると同時に木津町区HPにも掲載いたしました。

この他、2件の開発業者による開発会議が終了して工事協定書締結に至り、すでに造成工事、建築工事が着手され、令和7年度中完成の見込みです。



木津町区通常総会



木津町区合同会議



木津町区財産処理委員会

2. 防災・減災に向けた取組

【自主防災大会】令和6年7月28日(日) 木津川市中央交流会館にて開催。

多くの木津町区民と他地域の自主防災会の役員も含めて、参加者105名と盛況に遂行することができました。

木津川市危機管理課のご指導のもと、各防災委員による段ボールベッド、簡易トイレ、簡易テントの組み立てを行いました。また、相楽中部消防組合消防本部による、AEDの取り扱い、徒手搬送訓練、消火器操作手順のご指導、起震車による地震体験を行っていただきました。

木津川市危機管理課による基調講演「災害に備えて～木津川市の取り組み」、および、ADI災害研究所伊永勉理事長による特別講演「地域防災の原点自助と共助は命を救う」、の講演により、災害時における避難行動の指針を学ぶことができました。

民生委員、福祉委員の方々によるカレーライスの炊き出し訓練も好評でした。

当日、お子様同伴の参加者も多数おられ、ビンゴゲームにより区民の親睦、交流を図ることができました。

防災備蓄用食品3点セットを各参加者にお配りし、盛況のうちに終了いたしました。

区民の皆様が落ち着いた行動がとれますよう、この大会を教訓として常日頃の防災意識を高めていただき、防災の準備態勢を怠り無く、災害時、役に立てていただければ幸いです。

また、昨年度において社会福祉協議会主催での要配慮者へサポートについてのワークショップを踏まえて、今後共継続して検討しなければならない大きなテーマとなりました。



【自主防災研修】令和6年9月29日(日) 参加者95名にて、愛知県名古屋市港防災センターにて防災研修を行いました。

今回の研修は、地震発生時の安全な姿勢確保体験、1959年の伊勢湾台風被害状況のビデオ鑑賞、地震津波のVR体験、火災発生時の煙から逃れる体験等、災害時大いに参考となる経験でした。また、研修終了後に昼食会、名古屋城見学を行い、参加者皆様方との親睦を深めることができましたと思います。



5



0



【木津町区木津南ガーデンタウン自治会による避難訓練】令和6年11月9日（土）

自治会独自の防災訓練が実施されました。多くの住民が参加され、地区における防災意識の高さがうかがえる訓練でした。

今後、各自治会（町内会）単位での、避難訓練等の実施の検討をお願いいたします。個別の単位で行うことで、より細かいところに気が付く訓練ができると思います。



【木津川市避難訓練】令和6年11月17日（日）各避難所。

木津川市主催の避難訓練が各避難場所にて行われました。訓練アナウンスがあり、近くの避難所への移動後、防災資機材を用いての、組立訓練等が行われました、

不二荘園自治会は、自治会役員が集会所に集合し、木津中学校まで避難いたしました。今後でもできる限り、地域住民の皆様のご協力をお願いいたします。



【防災訓練】令和7年3月23日（日）瓦谷児童公園において実施。

各自治会（町内会）の自主防災委員による訓練を行い、役員含めて64名と多くの皆様に参加していただきました。木津第2分団第1部消防団による消火栓の取り扱い手順の説明を行っていただき、また、防災部長により、防災倉庫内の資機材についての確認作業を行いました。今後も継続して地域防災に役立つ防災訓練を行っていきます。



令和6年は、1月の能登半島大地震、7月には秋田県豪雨、8月には南海トラフとの関係を疑わせる宮城県沖地震、9月の能登半島豪雨、年度末には、大船渡市、今治市、岡山市等での大規模山林火災等、各地での自然災害による多くの甚大な被害が発生した年でもありました。

木津町区としても、決して他人事では無く、いつ何時、災害が発生するかもしれません。

防災大会、防災研修、防災訓練等で学んだ事を教訓に、常に防災意識をもって、災害時に対処できるようにしていきます。

【木津川市社会福祉協議会主催の研修会】

1. 災害ボランティア研修会。令和7年2月13日（木）

南山城村文化会館（やまなみホール）において開催。

地震、台風、豪雨などの自然災害が起きた被災地の復旧・復興に災害ボランティアは大きな力、役割を担っています。

山城南部地域においても過去に大きな豪雨水害を経験し、南海トラフ地震や木津川断層帯地震などの甚大な被害も想定される中、災害ボランティアの役割や登録を進め、必要な情報や技術を身につけるための研修会でした。

災害ボランティア活動支援を通じて、日頃から"私だからこそできること"について学び、木津町区としても災害に強い人づくり、地域づくりを目指していきます。

また、マイタイムライン作りの演習について学びました。いざというときにあわてずに行動するためにいつ、何をするかを整理したものがマイタイムラインです。

マイタイムラインをつくるためのヒントを学び、実際に作成する演習を行いました。

木津町区としても、社会福祉協議会の協力で、今年度災害時におけるマイタイムラインワークショップを実施する予定です。

2. 令和6年度見守り隊研修会。令和7年2月15日（土）

アスピアやましろにおいて開催。

各地で自然災害が頻発する昨今、日頃から「備え」、日常の暮らしの中で地域の気になる方を「身守り」、災害発生時には地域のつながりの中で「支え合う」、災害に負けない地域づくりを世代や立場の垣根を越えて、これまで以上に進めていくことが大切です。

被災者になる前に「見守り活動が」「つながりになって」「自身の受援力」の大切さにも連結していることを周りの方にも伝え、見守りの輪を広げていくことが大事と思われま

【火災警報器設置支援】

[火災警報器設置支援] で、条件付けの適応者からの申請により設置依頼先へ配付いたしました。また、消火器並びに器具ボックスが不足している自治会（町内会）の申し出により配付いたしました。

初期消火に消火器は欠かせない器具です。各自治会（町内会）での設置場所の把握をしていただき、すみやかに初期消火ができるよう、心がけていただければ幸いです。



3. 安全で犯罪が勃発しない地域を目指して

木津町区域内的の道路は狭く、車両の交互通行不能区間、屈曲した見通しの悪い個所が数多くあります。

区域内道路は生活道路であり、さらには通過交通車両も含めて、安全速度での運転を啓発するなどの措置が講じられる対策を要望事項として、継続して提出していきます。

ここ数年、木津川市においても不審者による児童の被害が多発しています。

木津町区内においては、定期的に、地域の犯罪抑止機能を高めるため、防犯パトロール、学童の登校下校時の見守り等を実施しています。今後も継続して実施することで、安心、安全な暮らしやすい木津町区を目指していきます。

地元消防団の皆様にも常日頃弛まぬご努力に感謝申し上げます。



4. 地域住民と情報の共有化

5月18日(土)に令和6年度木津町区通常総会を木津川市長、水利組合長ご臨席のもと、開催することができました、定期的に実施している各種会議、総会冊子や回覧の配付、それに加え比較的タイムリーな情報を提供できる木津町区HPへの掲載を行い、情報の提供や共有化を図りました。

また、新たに2箇所の戸建て住宅開発に関連する開発会議の中で、協定書等について審議をしていただきました。



5. 地域住民との交流

【令和6年度木津御神輿太鼓祭り】

10月26日、27日開催されました。26日は、御霊神社に敬神組、拝神團の御神輿が、また、27日は、田中神社に西町の御神輿と木津幼稚園児による子供神輿が奉納され、岡田國神社には義友会（5丁目、三桝町）、社町の御神輿が奉納されました。

この御神輿太鼓祭りが廃れることなく、子供たちの思い出として、記憶に残るよう、大切な郷土文化財を守っていききたいものです。



【木津川市社会福祉協議会行事】

1. 「福祉バザー」

10月6日（日）木津川市中央体育館において開催。市民の皆様からご提供いただいた品物を、多くの方々に購入していただきました。バザーの売上金は地域福祉の充実と、能登半島地震災害義援金と能登豪雨災害義援金に活用されました。

2. 「小地域高齢者交流会（木津町区支部）」

11月5日（火）地域の高齢者の親睦会を実施いたしました。21名の参加者により、八尾グランドホテルでの昼食会、温泉入浴、観劇等を行い、参加者の親睦を深めることができました。

3. 「ふれあいスポーツ交流会（木津町区支部）」

11月14日（木）木津川市ふれあい健康グランドにおいて、グランドゴルフ大会を実施いたしました。9名と参加者は少なかったですが、好天に恵まれ楽しくプレーができました。

11月17日（日）木津川市社会福祉協議会老人センターにおいて、公式ワナゲ大会を26名の参加者にて楽しく、にぎやかにプレーを楽しむことができました。

いずれも高齢者のふれあい、親睦に十分寄与した交流会でした。



4. 地域支え合いフォーラム。令和7年3月29日（土）アスピアやましろにおいて開催。

NPO 法人ハンズオン埼玉 西山 正様による、「出会いと交わりから生まれるまちづくり」をテーマにお話がありました、人との関係づくりは、何事も一緒に行うこと（食べる、遊ぶ、働く）、人を元気にするのは、答えるのではなく、応えることで、交わりが生まれるとのことのお話で、木津町区としても今後、住民間の融合に心がけていきたいと思えます。

地域の実践報告が4支部より報告されました。木津町区としても参考になる報告でした。

「災害時一人も取り残さない、地域の見守り」「グローバルつながり、多文化共生」

「30年後への種まき、世代間交流、とんどさん」「みんなと食べるごはんはおいしい元気な食堂」

6. その他

【木津小学校4年生による公園花壇設置と啓蒙ポスター】

3月10日(月)木津小学校4年生による、校外学習の一環として、河川、公園のごみ問題をとり上げ、全員で数か所の公園の清掃活動をしていただきました。

多くのごみに驚くとともに、率先して綺麗にしていくために、瓦谷児童公園での花壇プランターの設置、ごみ持ち帰り啓蒙ポスターの貼り付けが行われました。

このような小学校の取り組み活動について、木津町地域も積極的に応援をしていき、温かい目で見守っていきたいと思います。



【木津合同樋門について】

小川流域には市役所はじめ、国や京都府の行政機関、医療、商業、福祉、学校などの多様な都市機能や鉄道、道路の広域的な交通機関の要衝が集積しています。現在までの本流域の治水対策は、毎分160m³ですが、幾度となく浸水被害を受け、本流域の防災対策の強化として再度災害の軽減、治水対策として排水能力が毎分280m³の排水ポンプ施設が増強され、既存排水ポンプと合わせて毎分440m³の排水ポンプ施設が整備されました。



【木津川市交付金】

木津川市の補助金制度を活用して、令和6年度木津川市地域活動支援交付金の交付請求と令和6年度自主防災組織等活動助成金交付請求を行い、区会計と自主防災会会計に入金いたしました。-